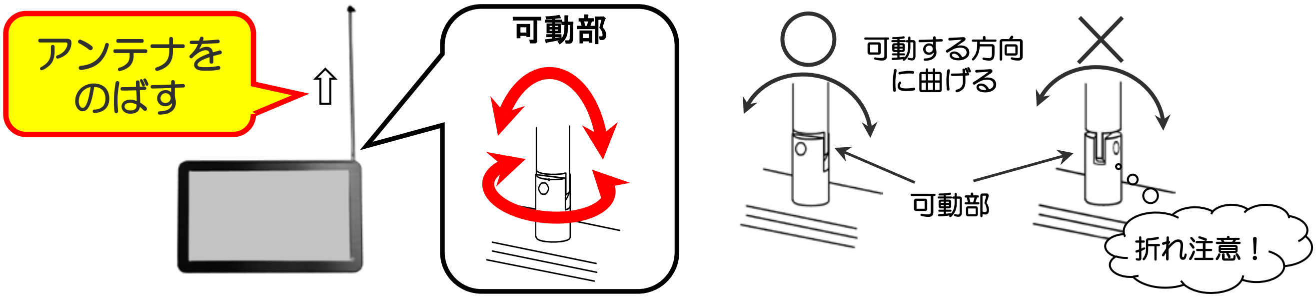
9. ワンセグＴＶ

9-1. チャンネル設定（スキャン操作）

はじめてテレビをご覧になる前に、下記の方法でチャンネル設定を必ず行ってください。

①見晴らしの良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。
アンテナは上部右側に収納されています。
引き出すときは、まっすぐにゆっくりと可動部が出るまで引き出して下さい。
しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押しこんで下さい。



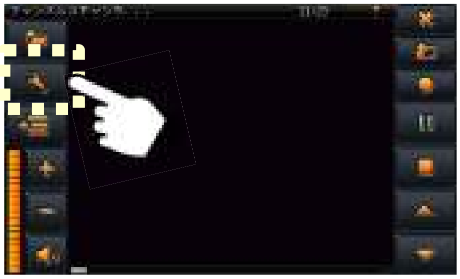
※アンテナの回転方向を確認の上、向きをかえてください。

＜注意＞
※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

②「テレビ」をタッチ
メニュー画面から「テレビ」をタッチする。

③「確認」をタッチ
警告文が表示されますので内容を理解して、「確認」をタッチする。

④ をタッチ
お近くの受信可能な放送局を設定するためにスキャン操作を行います。
　設定後は、地域が変わらなければこの操作は必要ありません。



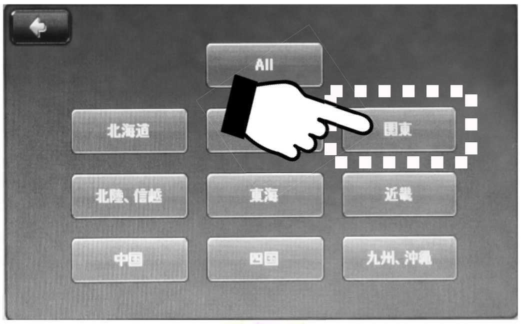
※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

⑤「地域」を選択

ご使用される地域を選択します。
（選択せずにスキャンもできますが、地域を選択するとスキャン時間が短くなります。）
※放送協がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。

⑤-1　「地域」をタッチ

⑤-2　地域を選ぶ（例　関東をタッチ）



⑤-3　都道府県を選ぶ（例　東京をタッチ）

⑤-4　ご地域にある放送局を表示

※スキャン操作後に、実際に受信可能な放送局を表示されます。
（この時点では受信できない放送局も含まれる場合があります）

⑥「スキャン」操作

スキャン操作をすることにより、実際に受信可能な放送局をさがし設定します。
※スキャン操作をするときは必ず受信環境のよいところでおこなってください。
受信環境が悪いところでスキャンを行いますと放送局が設定されない場合があります。

⑥-1「スキャン」をタッチ

受信可能な放送局を検索開始します。

⑥-2「適用」をタッチ

スキャン完了後、適用を押すことにより放送局の設定ができます。

チャンネル
設定完了

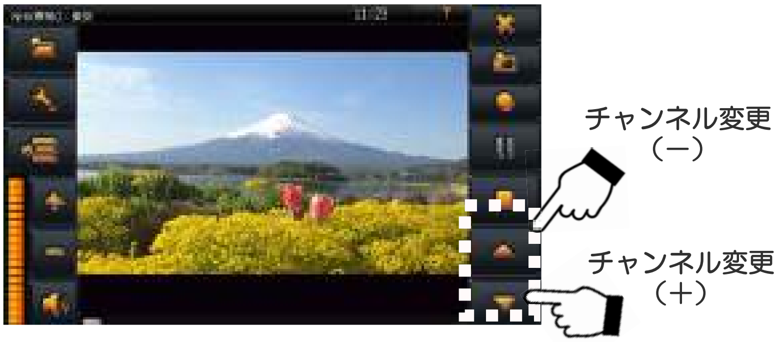
スキャンが終わると
「スキャン完了」
が表示

お車等で長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。
その際は、再度新しい地域での再スキャン、もしくはALLで再スキャンをおこなってください。

9-2. ワンセグＴＶをみる

①チャンネルをかえる

チャンネル変更矢印（▲、▼）をタッチしてお好みのチャンネルに変更します。
▲：チャンネル（－）
▼：チャンネル（＋）



②音量を調節する

・音量変更矢印（＋、-）をタッチしてお好みの音量に調整します。
＋：音量を上げる
－：音量を下げる

・ ボタンをタッチすると消音 になります。
(音はでません。）

9-3 ワンセグTVの各種設定

「 」をタッチすると、各種設定を変更できます。

＜設定内容＞
チャンネル：スキャン済みの放送局表示
基本設定　：言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕
ビデオ　　：画面のアスペクト比（画面の縦横比）の設定
情報　　　：バージョン情報

9-3-1　設定「チャンネル」

「チャンネル」をタッチすると、受信放送局が表示されます。

放送局を設定する際は、
『9-1.　チャンネル設定（スキャン操作）』（18ページ）
参照願います。

9-3-2　設定「基本設定」

「基本設定」をタッチすると、
言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕　の設定ができます。

設定の仕方

①設定項目の「▼」をタッチします。
②現れた選択項目から項目を選び
　タッチします。
③項目が切り替わりします。
④選択後、「適用」をタッチします。

≪ 言語 ≫

設定画面の言語の切替ができます。

日本語　⇔　English

- 日本語　：設定画面が日本語で表示されます。
- English ：設定画面が英語で表示されます。

≪音声チャンネル構成≫

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。

主音声　⇔　副音声　⇔　二重音声

≪ 音声スイッチ≫

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。

オーディオ１　⇔　オーディオ２

※放送番組により、**「音声スイッチ」**または**「音声チャンネル構成」**を変えることにより
　二ヶ国語、副音声、ステレオ音声（ステレオイヤホン使用時）をご利用できます。
　番組により音声切替方法が違いますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、*オーディオ１*に戻してから切換えてください。
（電源OFF→ONやテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的に*オーディオ１*に戻ります。）

≪ 字幕 ≫

字幕放送のときに字幕を表示します。

無効　⇔　日本語

- 無効　：字幕放送時の字幕は画面に表示されません。
- 日本語：字幕放送時の字幕は表示されます。

9-3-3　設定「ビデオ」

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

≪アスペクト比≫

画面サイズの調整ができます。

画面サイズ調整　⇔　レターボックス

- **画面サイズ調整**：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像（上下をのばした画像）
- **レターボックス**：横長の画面を上下に黒枠が出た状態で表示されます。

9-3-4　設定「情報」

「情報」をタッチすると、バージョン情報が表示されます。

EPG（電子番組表）をみる

EPG（電子番組表）でその日の番組内容を確認できます。

① EPG（電子番組表） をタッチします。

②左の番組の中から詳細を知りたい番組の をタッチすると、番組情報が表示されます。

③右の番組予定表をタッチするとその番組の情報が表示されます。

① をタッチ　② をタッチ　③ 番組情報及び番組予定表表示

お好みチャンネル

普段よく見るチャンネルを「お好みチャンネル」(♡)に集めお楽しみいただけます。

① 「EPG（電子番組表） 」をタッチします。

②右のチャンネルリストからお好みの放送局の右の「☆」をタッチすると「★」に変わり表示されます。

③「 ♡ 」ボタンをタッチすると、お好みのチャンネルのみ表記されます。

①「 」をタッチ

②お好みのチャンネルの「☆」をタッチして「★」にする。

③「 ♡ 」をタッチするとお好みチャンネルが表示されます。

9-5. ワンセグTV　録画／再生

※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

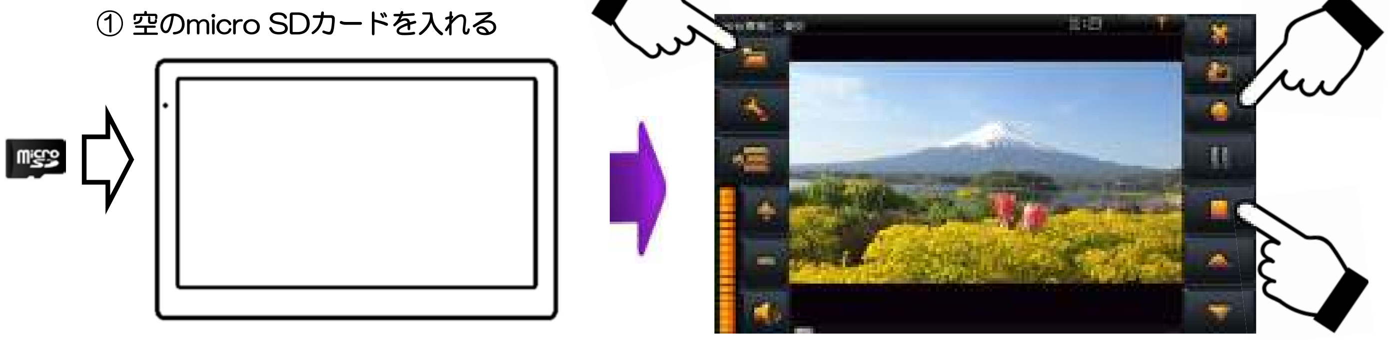
ワンセグTVを見ながらmicroSDカードに動画、静止画を撮ることができます。

ワンセグTVを録画／再生する

ご覧になっているテレビ番組を、micro SDカードに録画して
お楽しみいただくことができます。

① 空のmicroSDカードをいれる。
② 録画したい時に「 ● 」をタッチすると録画が開始します。
③ 終了するときは「 ■ 」をタッチします。
④ 再生するときは、「　」をタッチし、録画したデータを選び
「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※設定の「メディア」の中の「動画」で再生はできません。
「テレビ」の「　」からご覧ください。



ワンセグTVを静止画／再生する

ご覧になっているテレビ番組の静止画を、micro SDカードに
撮ることができます。

撮りたい画面のときに「　」をタッチする

① 空のmicro SDカードをいれる。
② 静止画を撮りたい時に「　」
をタッチする。

③ 再生するときは、
「メディア」⇒「写真」⇒SDMMC⇒Recorder⇒Snapshotをタッチし、
録画したデータを選び 「OK」をタッチする。
（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※「テレビ」の「　」の中からは再生はできません。
「メディア」の「写真」からご覧ください。

10. ドライブレコーダー（Dレコーダー）

ドライブレコーダー（Dレコーダー）機能で前方画像をmicroSDカードにビデオ録画することができます。

※本製品には音声録音機能はございません。

録画時間目安はmicroSDカード（8GB）で約１時間です。
その時間以降は順次消去され新しい録画が記録されていきます。

※録画ファイルは、短い時間に区切って（１ファイル約120MB（約１分））複数のファイルに録画されます。
（撮影環境により録画時間は変動します。）

※録画されたデータは、いっぱいになると古いデータから消され上書きされます。

※録画中、下記の場合に録画中のファイルは上書き禁止になります。（保存したいとき、下記操作をする。）

- 録画中に、上書き禁止ボタン「　」をタッチした場合
- 本製品に衝撃が加わった時（Gセンサーが作動した場合）

「ドライブレコーダー」画面の説明

操作メニュー

「ドライブレコーダー」画面上のボタンを説明します。

ドライブレコーダーの画面

① 「　」ボタン：（設定モード）：各種設定をする。

② 「　―　」ボタン：ドライブレコーダー画面を閉じる。**（録画中は録画続行）**

③ 「　」ボタン：ドライブレコーダー機能を閉じる。**（録画は停止）**

④ 「　」ボタン：録画中に押すとその時の録画ファイルのみ上書き禁止に
（上書き禁止）　になります。動画を残したいときに使用してください。
（製品上部の上書き禁止ボタンと同機能（１０ページ））

⑤ 「　」ボタン：録画モード⇔再生モード切替ができます。
（録画／再生切替）　（再生モードでは録画しません。）

⑥ 「▼▲」ボタン：**〈録画モード〉**明るさ調整（EV）できます。（-3～0～3）
（上下）　（再生モードではこのボタンは使用しません。）

⑦ 「◀▶」ボタン：**〈再生モード〉**停止時：録画したファイルを選択します。
（左右）　再生時：再生速度調整できます。
（1/8⇔1/4⇔1/2⇔１⇔2⇔4⇔8）
（録画モードではこのボタンは使用しません。）

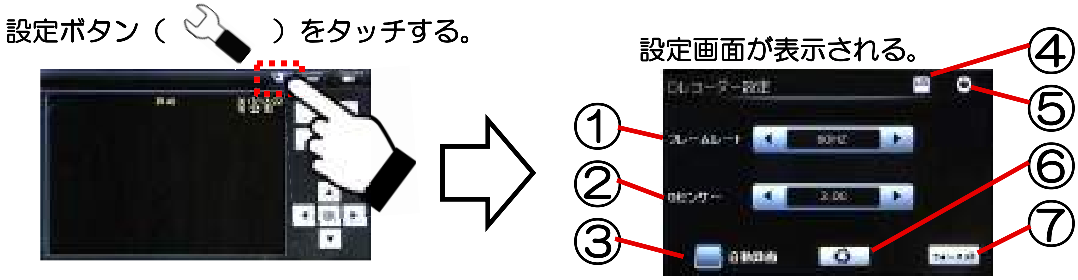
⑧ 「 OK 」ボタン：**〈録画モード〉**：録画の 開始⇔停止ができます。
〈再生モード〉：再生の 開始⇔一時停止ができます。

10-1 ドライブレコーダー設定

設定画面の説明

Dレコーダー設定では、録画時の設定をすることができます。

ドライブレコーダーの画面の設定ボタン（ ）をタッチすると
設定画面に切替ります。



※録画モードのとき設定ができます。再生モードになっているときは「 」で録画モードにしてください。

① **フレームレート**：　フレームレートの変更　50Hz⇔60Hzの切替。

信号機は高速で点滅しているためカメラと同期して消灯して録画される場合があります。

この場合は切り替えてお試しください。（地域により違います。）

② **Gセンサー**：　G-センサーの感度調整　1.2G／1.6G／2.0G

衝撃を受けた時、録画中のファイルは上書き禁止になります。

1.2G：軽衝撃で動作します。

1.6G：中衝撃で動作します。

2.0G：強衝撃で動作します。

③ **自動録画**：「✔」をつけると、自動録画設定されます。
電源がオンすると自動的にスタート録画がスタートします。

④「 」：設定を変更した状態でドライブレコーダー画面に戻る。

⑤「 」：設定を変更せず元の状態でドライブレコーダー画面に戻る。

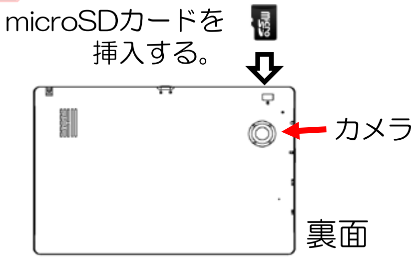
⑥「 」（初期化）：工場出荷状態に戻します。

⑦「**フォーマット**」：ドライブレコーダー用アプリのフォーマット化します。

※初めて使用するmicroSDカードは、必ず初めにこのフォーマットを行ってください。

本製品はmicroSDカードは付属しておりません。
市販のmicroSDカードをご購入ください。
（32GB以下、　クラス６以上のカードをお使いください。）

ドライブレコーダー機能の準備



①microSDカードを入れる。

市販のmicroSDカードを上面のドライブレコーダー用
microSDカードスロットの挿入する。
※カチっと奥まで入っていることを確認してください。
（表裏が逆に挿入すると奥まで入りません。）

②「ドライブレコーダー」に設定する。

メインメニューからドライブレコーダー（Dレコーダ）アイコンをタッチすると
ドライブレコーダー（Dレコーダ）の画面が表示されます。

「Dレコーダ」をタッチ　　　「Dレコーダ」の画面を表示

microSDカードの設定（フォーマット）

はじめて録画する場合microSDカードを専用フォーマットする必要があります。
下記に沿って、カードをフォーマットしてください。
一度フォーマットしたカードは、再度フォーマットの必要はありません。
（未フォーマットの場合「Card not formatted」と表示されます。）

<注意>

- フォーマットは必ず付属のDCアダプターで<u>通電状態</u>で行ってください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作を行なったりしないでください。
  ※途中で電源が切れたり強制的に終了した場合、microSDカードが壊れることがあります。

① microSDカードのフォーマット

- ドライブレコーダー画面の設定ボタン「　」を押し設定画面にする。
- フォーマットボタンを押しフォーマットをする。
- 「はい」を押すとフォーマットされる。
- 「　」を押すとドライブレコーダーの画面に戻る。

設定「　」を押す　　「フォーマット」を押す　　「はい」を押す

10-3 録画をする

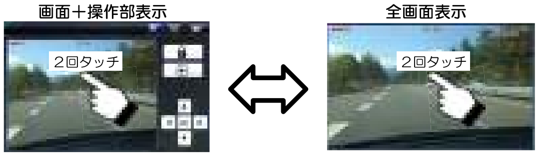
※ドライブレコーダー専用フォーマットされたmicroSDカードが入っていることを確認

手動で録画をする場合

①「OK」を押す。

右上に「●REC」が赤点滅し録画が開始します。
現在時刻が黄色文字で点灯します。
録画時間が赤字で表示されます。

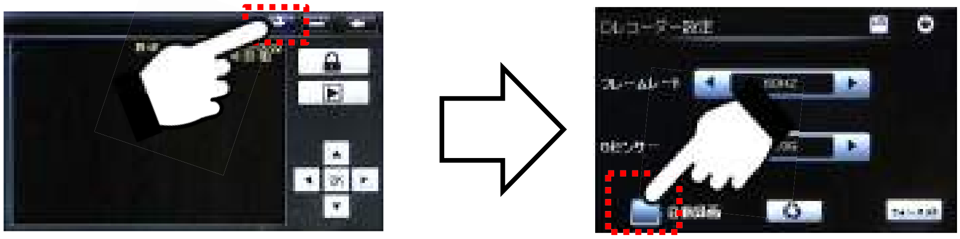
※映像画面を２回タッチすると映像が全画面表示になります。
再度２回タッチすると元の画面に戻ります。



自動で録画をする場合

「自動録画」に設定すると、電源が入った時に常に録画を開始します。
自動録画オフ時は、上記録画設定時のみ録画状態になります。

①設定「　」ボタンを押し設定画面にする。
②「自動録画」ボタンを押し、

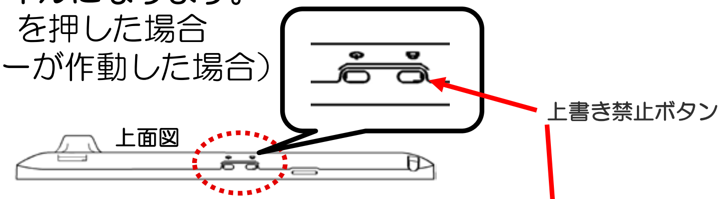


設定「　」を押す　　「自動録画」を押す

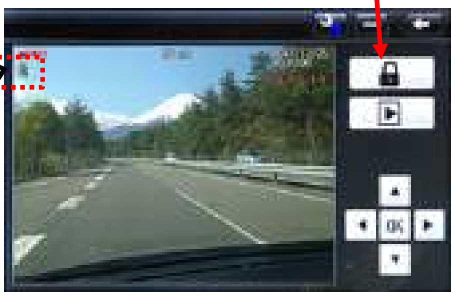
上書き禁止録画について

本機種は、録画されたデータはmicroSDカードの容量がいっぱいになると古いデータから消され上書きされます。
ただし、下記操作、状態で上書き禁止ファイルになります。

① 録画中に、上書き禁止ボタン「　」を押した場合
②本製品に衝撃が加わった場合（Gセンサーが作動した場合）



（黄）：上書きボタンを押した場合
（青）：Gセンサー（衝撃）が加わった場合
（赤）：Gセンサーかつ上書きボタンを押した場合



10-4　再生する

本機種で撮影録画した動画を下記の方法で再生することができます。

本製品で再生する場合

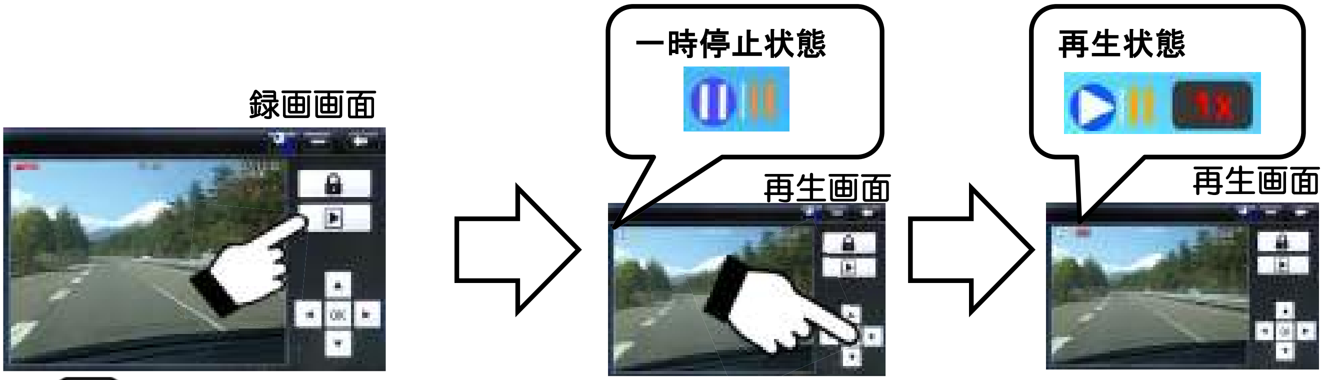
① 録画/再生切替「 ▶ 」を押し再生画面に切替える。

再生画面に切替り、一時停止状態になる。

②「OK」ボタンを押すと再生し始めます。

一時停止状態になっているので「OK」ボタンを押すと再生し始めます。

再度「OK」ボタンを押すと一時停止になります。



① ▶ を押す。　② OKを押す。　再生開始する。

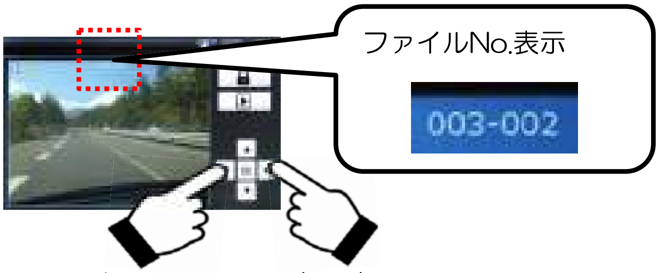
③ 一時停止状態で「◀ ▶」ボタンを押すと録画ファイルが選択できます。

選択後、「OK」ボタンを押すと再生します。

《ファイルNo.表示について》

前３桁数字：電源オン/オフする毎に番号が上がります。

後３桁数字：約120MB（約１分）ごとにファイルが作られ番号が上がります。



録画ファイルを選択

④ 再生状態で「◀ ▶」ボタンを押すと再生速度が変わります。

〈変化速度〉

1/8x⇔1/4x⇔1/2x⇔１x⇔2x⇔4x⇔8x

再生速度を選択

パソコンで再生する場合

本機で録画したmicroSDカードをパソコンで再生する場合は、microSDカードに保存されている専用ビューアで再生してください。
一般の動画再生プレーヤでは再生できません。
（このビューアは、本機でmicroSDカードをフォーマットすることによりカードに保存されます。）

●動作環境

対応OS	Windows　7/8/8.1/10
CPU	Intel Pentium4　2.4GHz以上
メモリー	1GB以上
HDD空き容量	1GB以上
ディスプレイ	XGA（1024ｘ720pix）以上
その他	microSDカード接続可能なこと

※上記条件を満たしたパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ご使用の環境によっては正しく動作しない場合があります。

＜設定方法＞

①パソコンにmicroSDカードを差す。（microSD対応していない場合は市販のカードリーダーをご使用ください。）

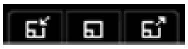
②microSDカードを読み取り、「ADRPlayer」をひらく。

ADRPlayerを開くと下記画面作面が表示されます。

操作画面

<操作画面の説明>

表示



① **画面表示サイズ調整** ：ビューア表示サイズを変更できます。

② **再生画面**：録画した再生画面を表示します。

③ **ファイルリスト**：読み込んだファイルを表示します。

④ **Gセンサー** ：録画した時の衝撃度(G値）をグラフ表示します。

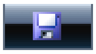
⑤ **再生進捗バー**：再生時の進み具合を表示します。

⑥ **録画リスト**：録画を開始した日付/時間のリスト表示します。

⑦ **ファイル取込み**：ファイルを取り込みます。

(本機で録画されたデータはmicroSDを開くとリストに表示)

⑧ **スナップショット**：ビューアで表示した画面を静止画として保存できます。



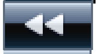
⑨ **保存**：動画ファイルをAVI形式に変換して指定の保存場所に保存できます。

リストからファイルを選び、保存ボタンを押し保存先を指定する。

⑩ **削除**：動画ファイルを削除します。

リストからファイルを選び、削除ボタンを押すと削除されます。

⑪ **設定**：microSDカードのフォーマット、ビューアの言語設定　等の設定を行います。

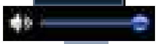


⑫ **再生速度調整（遅）** ：　再生速度を遅くします。（調整範囲：1/5～5倍）

⑬ **停止** ：再生を停止します。

⑭ **再生/一時停止** ：選択されたファイルを再生/一時停止をします。

⑮ **再生速度調整（早）** ：再生速度を早くします。（調整範囲：1/5～5倍）



⑯ **音量調整** ：音量を調整します。（本製品で録画した動画には音声はありません）

⑰ **リピート** ：再生しているファイルをリピート（繰り返し再生）オン／オフ切替えます。

⑱ **左右反転** ：画像を左右反転させます。

⑲ **G値表示** ：Gセンサーのグラフを表示／非表示切り替えます。

⑳ **ビデオリペア** ：壊れたファイルが修復できる場合があります。

（ファイル状況により修復できない場合があります。）

㉑ **ファイルアンロック** ：上書き禁止されたファイルを解除します。

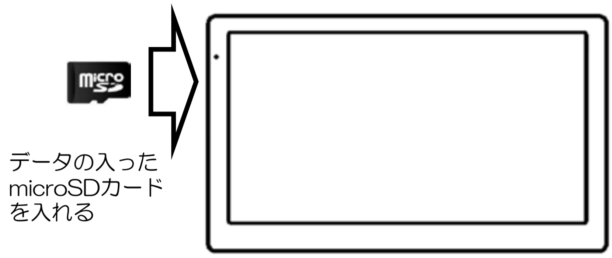
㉒ **色調整** ：再生画面の 明るさ/コントラスト/色合い の調整ができます。

11. メディア

本メディア機能ではパソコンなどからmicroSDカードにいれた
動画、音楽、写真をお楽しみいただけます。

①音楽などの入ったmicroSDカードをいれる。

パソコンなどからお好みの
動画、音楽、写真のデータを
入れたmicroSDカードを
側面に入れる。



②「メディア」機能にする

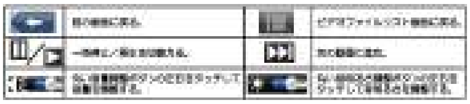
メインメニューから「メディア」アイコンをタッチして
お好みの**動画、音楽、写真**　お選びください。

メディアメニュー（選択画面）

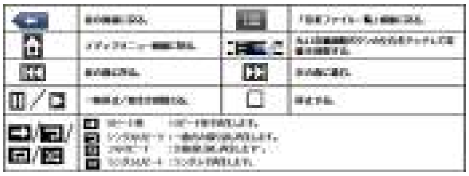
③お好みのメディア内のソースを再生する。

下記のボタン操作に従ってお楽しみください。

動画の場合



音楽の場合



写真の場合

※動画再生中に画面中央を2回タッチすると画面が大きくなります。
　再度2回タッチすると元のサイズに戻ります。

動画、音楽、写真の再生可能な条件は下表のとおりです。

	再生可能データ フォーマット	ビットレート	解像度	フレームレート
音楽	MP3	320kbps	／	／
	WMA	64kbps	／	／
動画	MPG	1500kbps	320x240 以下	25fps
	AVI	1500kbps	480x272 以下	30fps
	WMV	1500kbps	480x272 以下	30fps
	ASF	285kbps	320x240 以下	25fps
写真	JPG、BMP	／	2560x1600　以下	／

※上記の条件であってもカードによっては、再生できない場合がございます。
その際は、カードを変えてご使用ください。

11-1.動画

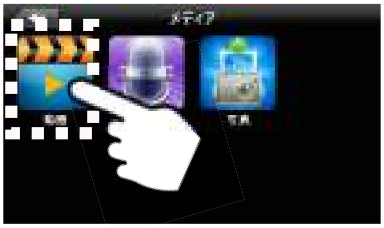
パソコンなどからmicroSDカードに入れた動画(ビデオ)をお楽しみいただけます。

動画 を選ぶ

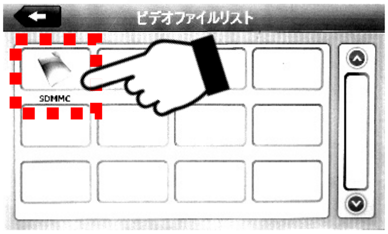
※動画の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

① メディアメニューから「動画」アイコンをタッチします。
② 「 SDMMC]をタッチします。
（さらにホルダーがあるときは選び、動画を表示してください。）
③ お好みの動画を選んでタッチすると音楽が始まります。

メディアメニュー（選択画面）



「動画」をタッチ



「SDMMC」をタッチ

見たい「動画」をタッチ

動画 をみる

操作画面で 動画 の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「動画ファイル一覧」画面に戻る。
	一時停止／再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音明るさ調整ボタンの左右をタッチして音明るさを調整する。

※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質（SD）までです。高画質（HD）には対応しておりません。
※動画データによっては本機で再生出来ないものもあります。
※microSDカードによっては、再生されないこともあります。

11-2. 音楽

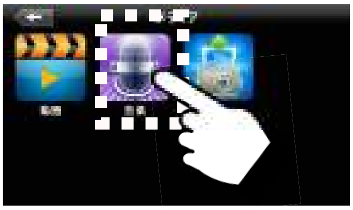
パソコンなどからmicroSDカードに入れた音楽をお楽しみいただけます。

音楽を選ぶ

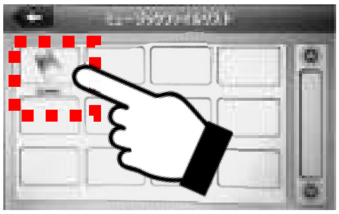
※音楽の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「音楽」をタッチします。
2. 「SDMMC]をタッチします。
   （さらにホルダーがあるときは選び、音楽を表示してください。）
3. お好みの音楽を選んでタッチすると操作画面にかわり、音楽が始まります。

メディアメニュー（選択画面）



「音楽」をタッチ

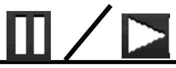
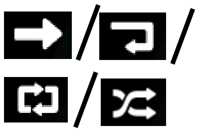
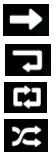


「SDMMC」をタッチ

聞きたい「曲」をタッチ

音楽を聴く

操作画面で曲の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「音楽ファイル一覧」画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止／再生を切替える。		停止する。
	 リピート無：リピート無で再生します。 シングルリピート：一曲のみ繰り返し再生します。 フルリピート：全曲繰り返し再生します・。 ランダムリピート：ランダムで再生します。		

操作画面

※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質（SD）までです。高画質（HD）には対応しておりません。
※音楽データによっては本機で再生出来ないものもあります。予めにご了承ください。
※メディア（音楽、ビデオ、フォトアルバ ム）の入ったmicroSDカードは、*ドライブレコーダー用の挿入口には入れないでください。*データが消去されることがあります。

＜音楽を聴きながらナビ操作する場合＞
音楽を再生し、 からメニュー画面⇒ナビを立ち上げると音楽再生したままナビ操作できます。

11-3. 写真

パソコンなどからmicroSDカードに入れた「写真」をお楽しみいただけます。

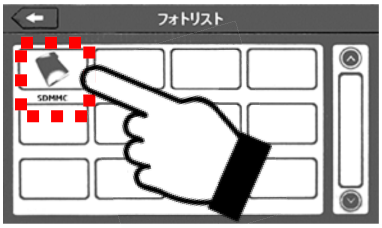
写真 を選ぶ

※写真の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「写真」をタッチします。
2. 「SDMMC］⇒「Photo」の順にタッチします。
   （さらにホルダーがあるときは選び、写真を表示してください。）
3. お好みの写真を選んでタッチすると写真画像が表示。

メディアメニュー（選択画面）

「写真」をタッチ



「SDMMC」をタッチ

見たい「写真」を
タッチ

写真をみる

操作画面で 写真の画像操作を行います。

	前の画面に戻る。		「写真一覧」画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90°回転する。		写真画像を全画面表示にする。 （ダブルタッチで元画面に戻る）
	スライドショーにする。 （約5秒起きに写真が変わります）		

12　設定

メインメニューから「設定」アイコンをタッチします。
各メニューのアイコンをタッチして各種の設定ができます。

「 ＞ 」をタッチにより次の画面に移ります。

「 ＜ 」で元の画面にかわります。

設定のメニュー画面(1ページ目)

設定のメニュー画面(2ページ目)

12-1　ボリューム 設定

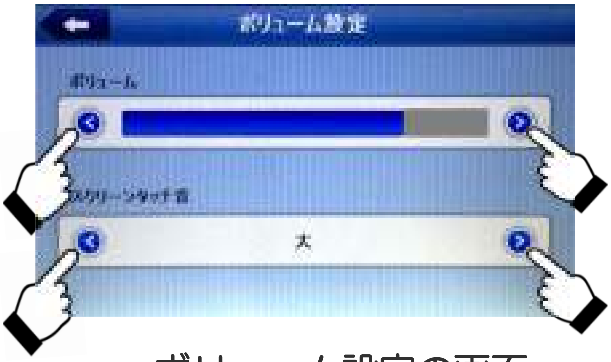
ボリューム設定で音量やタッチ音の調整ができます。

1．「設定」内の｢ボリューム｣をタッチする。
2．ボリュームの「 ＜ ＞ 」をタッチして音量を調節する。
3．スクリーンタッチ音の「 ＜ ＞ 」をタッチしてタッチ音を調整する。
（ OFF／小／大 ）

1.「ボリューム」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2.3.「 ＜ ＞ 」で調整



ボリューム設定の画面

12-2　バックライト 設定

バックライト設定で画面の明るさ、パワーセーブモードの設定ができます。
※パワーセーブモード：設定時間後に画面が暗くなり、バッテリーの消耗を減らします。
　バッテリー駆動時のみ動作します。

1．「設定」内の「バックライト」をタッチする。
2．バックライトの「＜　＞」をタッチして明るさを調節する。
3．パワーセーブモードの「＜　＞」をタッチしてパワーセーブモードに入る時間を調整する。
（常にON／10秒後にOFF／20秒後にOFF／30秒後にOFF／1分後にOFF／10分後にOFF）

1.「バックライト」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2.3.「＜　＞」で調整

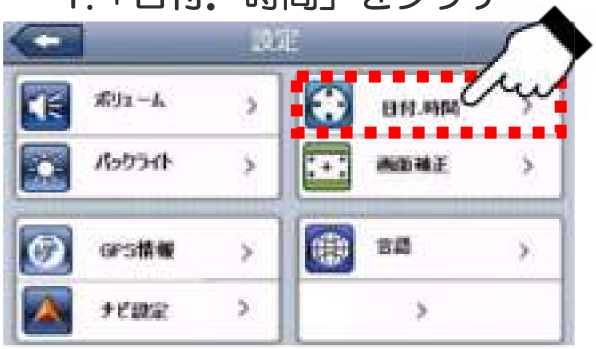
バックライト設定の画面

12-3　日付・時間 設定

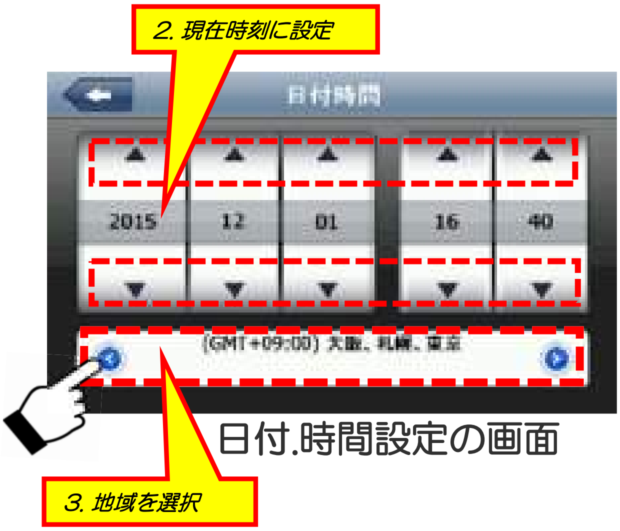
日付.時間の設定メニューで西暦、日付、時間、時間および地域の設定ができます。

1．「設定」内の「日付.時間」をタッチする。
2．現在の西暦、付き、日、時間、分を「▲　▼」のタッチで設定する。
3．地域の「＜　＞」をタッチして「（GMT+09:00）大阪、札幌、東京）に設定する。

1.「日付．時間」をタッチ



設定のメニュー画面(1ページ目)



日付.時間設定の画面

※日付．時間に関しては、ナビのGPS受信により自動設定されます。

12-4　画面補正 設定

画面補正の設定で画面をタッチして位置の補正を行います。

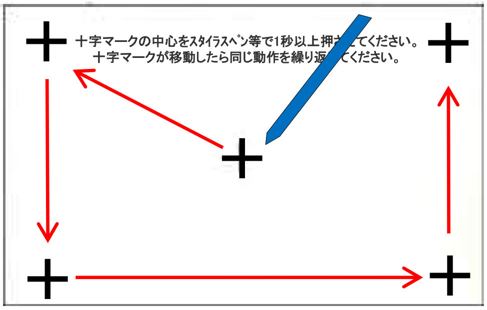
1．「設定」内の「画面補正」をタッチする。
2．実行の確認の画面で「はい」をタッチする。
3．下記の通りに画面に従ってタッチ位置を補正する。
　①画面の中央にある「＋」の中心をスタイラスペンなどでタッチしてください。
　　その際「＋」が動くまでタッチし続けてください。（1秒以上）
　　「＋」が左上に移動します。移動したらタッチを離して下さい。
　②次に左上に移動した「＋」の中心をタッチし続けてください。
　　左下に移動したらタッチを離してください。
　③同様に続けてください。「＋」は
　　中央→左上→左下→右下→右上
　　の順で移動し終了します。
　④最後に画面をタッチします。

1.「画面補正」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2.[はい」をタッチ

3.「＋」を長押し　移動後、
次の「＋」を再度長押し



※この画面（白画面）が表示された時は上記操作を行ってください。

12-5　GPS情報

「GPS情報」からGPSの受信状況が確認できます。

1．「設定」内の「GPS情報」をタッチする。
2．ＧＰＳからの情報を確認することができます。

ナビゲーションとは、4個以上のGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、
地図上に目的地までの距離や時間や方向を表示して案内する機能です。
GPS衛星の受信状況を確認するためにこの機能を使い、GPS衛星の情報を表示します。

<<注意>>
①GPSは、出来るだけ衛星から垂直に電波を受けやすいようにセットしてください。
②測位する場所は、衛星からの電波をさえぎるような高い建物や木々などがなく
　上空の視界が開けた、見晴らしの良いところで行ってください。
③初めて測位するときや前回測位した場所から300km以上離れている場合は、
　コールドスタートとなり数十分時間がかかる場合があります。
（一度受信しましたらその後はウォームスタートとなり受信は速くなります）

1.「ＧＰＳ情報」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2.「　」をタッチ

12-6　ナビ 設定

ナビゲーションを動作させるための設定です。
（この機能は通常は使用しません）

＜ナビ設定方法＞

1．「ナビ設定」をタッチしナビゲーションパス設定画面にする。
2．「　」をタッチし、その中のホルダー「ResidentFlash」「NaviOne]を順にタッチして「NaviOne.exe」が表示したことを確認して「OK」をタッチする。
3．「　」をタッチして元の画面に戻る。

1.「ナビ設定」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

「ナビ」設定は工場出荷時に設定済みですが、
初期化(40ページ「ファクトリーリセット」）を行うと、ナビ設定も初期化されることがあります。ナビが立ち上がらない場合は上記設定をしてください。

12-7　言語 設定

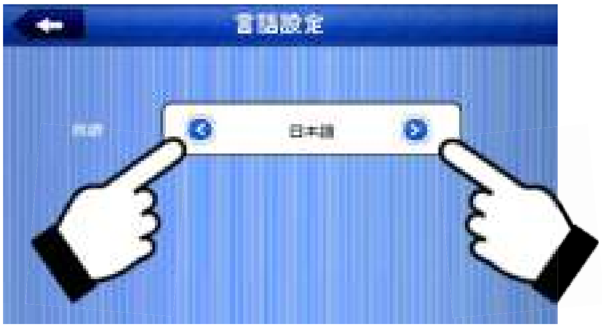
設定メニューの言語を日本語／英語に切換えることができます。
※ナビゲーションのメニューは日本語のみです。

1．「設定」内の「言語」をタッチする。
2．「　　」をタッチし言語設定を選ぶ。（初期設定は日本語です。）

1.「言語」をタッチ

設定のメニュー画面(1ページ目)

2．言語を選ぶ



12-8　ファクトリーリセット 設定

設定を工場出荷時の状態に初期化します。

1．「設定」内の「ファクトリーリセット」をタッチする。
2．「はい」をタッチすると初期化します。

1.「ファクトリーリセット」をタッチ

設定のメニュー画面(2ページ目)

2.「はい」をタッチ

※「ファクトリーリセット」をすると「ナビ設定」も初期化される場合がありますので
その場合は39ページの「ナビ設定方法」にしたがって設定を行ってください。

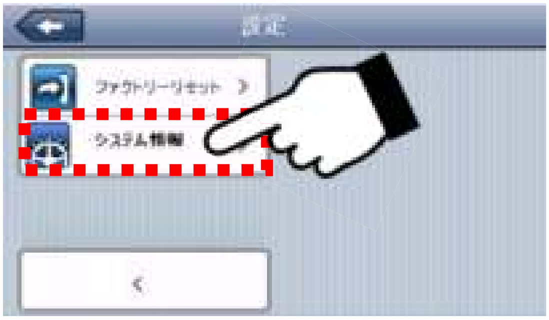
12-9　システム 設定

本製品のシステムリソースの確認する機能です。

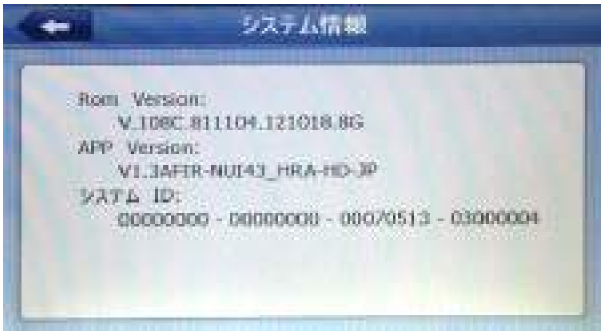
1．「設定」内の「システム情報」をタッチする。
2．システム情報が表示されます。

※この機能は、製造上の管理に使用するための機能で、お客様のご使用には関係ございません。

1.「システム情報」をタッチ



設定のメニュー画面(2ページ目)



システム情報

13.　ソフトウェア仕様

項目		仕様
地図部門	全国道路地図	OpenStreetMap製　2024年度版
	昼夜画面切り替え	○（昼：夜手動/自動切替）
	縮尺切り替え	○１２段階（２５m～１００km）
	ルート検索機能	おすすめ・高速道路優先・一般道路優先・距離優・複数ルート表示(高速優先、一般優先、最短距離)
	リルート機能	○（自動・手動）
	トンネルアシスト	○（ナビ走行時）
	スカイモード	○
	右左折案内	○（大文字右左折表示）
	一方通行表示	○（地図尺度50m以下）
	到着予想時刻表示	○
	目的地までの距離表示	○
	オービス情報	○（音声警告・位置文字表示）
	高速道路表示	○（スクロール機能付）
	地図表記言語	日本語
	ノースアップ／ヘッドアップ切替	○（北方向上/自車方向上）切替
	スマートインターチェンジ対応	○
	デモ走行機能	○
検索	電話番号検索	約４８０万件（企業）
	住所検索	約３３００万件
	施設名検索	約６８万件
	周辺施設検索	約６６万件
登録機能	検索地点履歴	１００ヶ所
	地点登録	220ヶ所×6カテゴリー
	自宅登録	○

※本機のデザイン・仕様は予告なく変更する場合がございます。

※地図情報に関しては、全ての情報は網羅されていない場合があります。

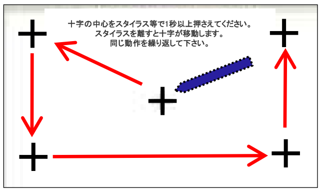
14. ハードウェア仕様

項目		仕様
液晶表示器	種類（TFTなど）	液晶：ＴＦＴ　　バックライト：LED
	サイズ（インチ）	7インチ
	解像度(横X縦)	800x480 pixel
	視野角（上下左右）	上30°下15°　左30°　右30°
	輝度	200 cd/㎡
タッチパネル		感圧式
CPU		MSB2531 ARM Cortex-A7 800MHz
内蔵メモリ		256MB(DDR SDRAM Flash 4 GB
ＯＳ		Microsoft WindowsCE 6.0
音声出力		1.0W　X１
入出力端子	イヤホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック
	microSDカードスロット	メディア用　対応32ＧＢ以下 ドライブレコーダー用　対応32GB以下（クラス６以上）
	再生動画フォーマット	ASF/AVI/WMV/MPG
	再生音楽フォーマット	MP3/WMA
	再生画像フォーマット	JPG/BMP
ＴＶ受信	ＴＶ受信	ワンセグ (470-770MHz)
	ワンセグ録画機能	録画可能（録画はワンセグのみ）
カメラ部	画素数	１００万画素
	画角	水平　105°　垂直　60°
その他	エンジンｏｎ/ｏｆｆ 連動機能	○
電源	電源電圧	DC5V （miniUSBタイプ入力端子）
	消費電力(W)	３.5W
	待機時消費電力	２０mW以下
内蔵 バッテリー	種類	リチウムポリマー
	容量(mAh)/電圧(V)	1600mAh　/　3.7V
	駆動時間	約1時間
	充電時間	約4時間
サイズ		約175mm x 109mm x 21mm
質量		約270g
動作温度		0～45℃
保存温度		-10～60℃
付 属 品		・車載用DCアダプター（入力：DC12-24V）
		・車載用吸盤スタンド一式
		・吸盤ベース板
		・スタイラスペン(スタンドに装着)
		・取扱説明書（保証書付き）

＊仕様及びデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

15. 困った時には

修理を依頼する前に、以下のことを確かめてください。

●電源・バッテリーについて	・電源が入らない。	・バッテリー残量が少ない可能性があります。 十分充電してから電源をいれてください。 (充電中はランプが赤点灯します。青点灯で充電完了） ・ハードリセットを行い、再起動を確認してください。
	・バッテリーの持続時間が短い。	・バッテリーの寿命の可能性があります。 サポートセンターにご相談ください。
●本体について	・画面が暗くて見えない。	・設定で暗くなっている可能性があります。 明るさを調整してください。
	・画面が消える／映らない。	自動ＯＦＦ設定が設定されている可能性があります。 設定を解除してください。 ・設定→バックライト設定→自動OFF設定を「常にON」にする。
	・タッチパネルの反応が悪い。ボタンが押せない。	・保護フィルムをはがしてください。 ・タッチポイントの位置がずれている可能性があります。 設定の画面補正で修正してください。
	・画面が真っ白になる。（画面補正の画面になる）	※画面補正画面の指示に従い「＋」をタッチし続けてください。 （「＋」を長押しして、移動したら次の「＋」を長押しします。） 
	・音声が出ない。	・音量ボリュームを確認してください。
	・テレビが受信できない。	アンテナを伸ばして下さい。 受信環境の良いところに移動してください。 スキャンを行い受信可能な放送局を設定してください。
●GPS受信について	・電源を入れた時、GPSの受信ができない。	・初めて使用する時や長時間使用していない時は、 コールドスタートとなり、受信に時間がかかります。 屋外の空の開けた場所で受信できるまで待ってください。
	・電源OFFのまま長距離移動後GPSを受信しにくい。	・GPSの情報を再設定するため受信に時間がかかります。 一度受信しましたらその後は早く受信できます。
	・GPS感度が悪く自車位置が捕らえにくい。	・本体の取付け位置を電波の入りやすい位置に移動してみてください。
	・GPSを受信できない。	・受信しやすい位置に移動して設置ください。
●ソフト動作について	・動作エラーが発生する。	・リセットを行うか電源を入れ直してください。
	・動作が停止又は不安定。	・リセットを行うか電源を入れ直してください。
	・正しい時刻が表示されない。	・メインメニューの設定で、時刻設定を行ってください。 ・ＧＰＳを受信してください。

１６　お問い合わせ先

サポートセンターのお問い合わせ先は下記になります。
※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意ねがいます。

お問い合わせ先

サポートセンター

電話　：042-686-3645

営業時間　：平日１０：００～１７：００
（土日祝祭日は休み）

MEMO

保証書

本保証書は製品ご購入日から下記保証期間内で、製品本体（消耗部品を除く）に故障が発生した場合に下記内容で無料修理する事をお約束するものです。
修理は必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。

Ver.1.0

【無料修理規定】
1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料で修理いたします。
●無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本保証書を添えてご依頼ください。
●ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、サポートセンター　にご相談ください。
2. 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
●使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
●火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
●ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
●本保証書のご提示がない場合。
●本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名が記入のない場合、或は字句を書換えられた場合。
●消耗品、付属品などの交換などによる故障及び損傷。
●液晶、タッチパネルの損傷。
3. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
6. 修理の際は大切な情報（登録地点など）は必ずメモなどバックアップをおとりください。
初期状態に戻すことがあります。
7. データの取り扱いについて
●修理依頼品がメモリーなど記録媒体を搭載または使用する製品の場合、製品に使用した記録媒体等に記録されたデータ（お客様が登録した地図データ、録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容等を含む）を必要に応じて修理の過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理の目的以外に使用いたしません。
●本修理サービスにおいて当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いません。
●修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の記録媒体等の初期化、交換、工場出荷状態に戻す等の作業を行うことがあります。その際にお客様の登録データや著作権を含む記録データおよびお客様が追加したファイル、設定等は失われる場合があります。必要なデータ及びファイル等はあらかじめお客様にてバックアップを作成いただく様お願い致します。
●修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。
当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。
●修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は株式会社カイホウジャパンの所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承願います。

※修理の際は大切な情報（登録地点など）は必ずデータのバックアップまたはメモなどをおとりください。
また大切な記録データ（音楽・映像など）なども必ずバックアップをおとりください。

【本規定の変更】
当社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに、本規定の内容を変更できるものとします。
この場合、 本保証書の提供条件は変更後の規定によるものとします。

品　番　　**OT-DN706K**	保証期間　ご購入日より　1 年間
ご購入日　西暦　　年　　月　　日	お客様名
ご購入販売店、住所、電話番号　　印	

〈販売元〉ダイアモンドヘッド株式会社
〒108-0073 東京都港区三田 2-7-13 TDS 三田ビル6